



平成30年3月期決算補足説明資料

—目次—

・決算概要P1
・連結 損益等の状況P2
・連結 要約貸借対照表P3
・フリー・キャッシュフローの推移P4
・連結自己資本比率の推移P5
・平成30年3月期の業績予想P6



決算概要



1.売上高

新設住宅着工戸数は平成29年の夏ごろより前年同期に比べ減少傾向にあり、売上高へ影響

	売上高	[住宅建材設備事業]	[発電事業]
連結	649億円	638億円	11億円
(前期比)	(△14億円)	(△14億円)	(△0億円)

2.利益

海外子会社による海外のグループ外売上高は増加したものの、国内の業績は新設住宅着工戸数減少の影響もあり、売上高・営業利益・経常利益がいずれも減少、また、海外連結子会社JNLギスボン工場の合板事業休止に伴い、特別損失を約9億円計上

	売上総利益	営業利益	経常利益	親会社株式に帰属する当期純利益
連結	195億円	18.3億円	15.1億円	2.0億円
(前期比)	(△10.8億円)	(△10.2億円)	(△4.8億円)	(△9.5億円)

3.為替レート、NZ金利の推移

	平成28.3末	平成29.3末	増減(期首比)	平成29.6末	平成29.9末	平成29.12末	平成30.3末	増減(期首比)
対USDドル	112.68	112.19	△0.49	112.00	112.73	113.00	106.24	△5.95
対NZドル	77.88	78.43	+0.55	82.01	81.38	80.20	76.81	△1.62
NZ政策金利	2.25%	1.75%	△0.50%	1.75%	1.75%	1.75%	1.75%	0.00%



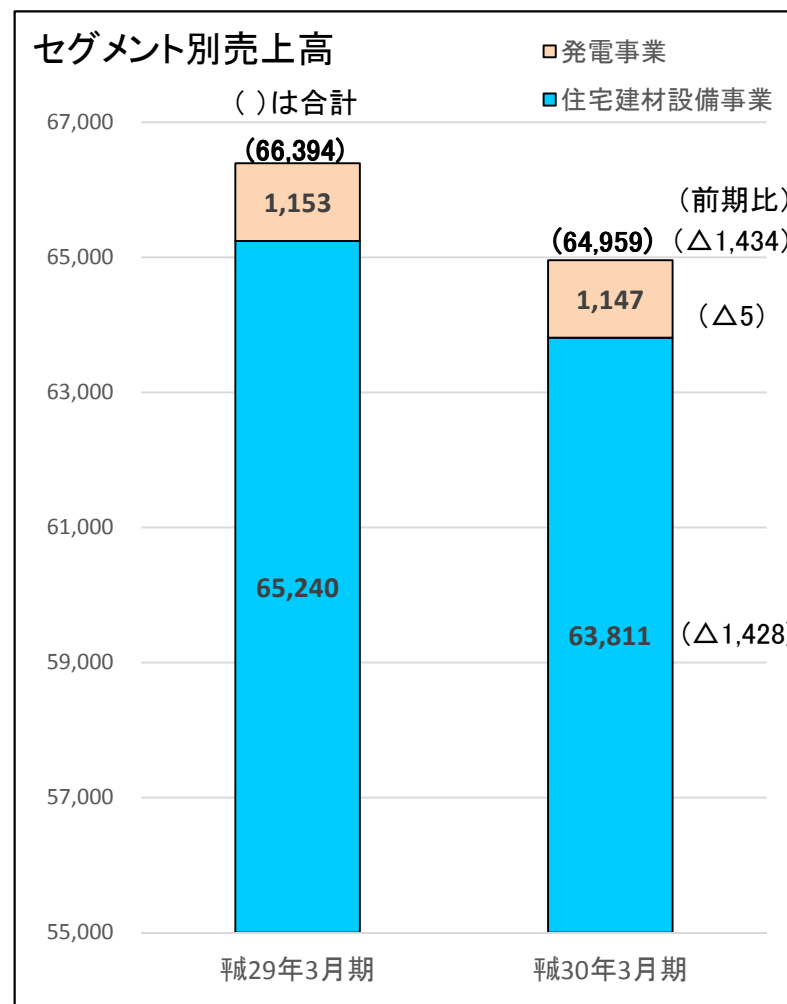
連結 損益等の状況



連結売上高は649億円で前期比14億円の減少。営業利益は前期比10億円減少、経常利益は前期比4.8億円減少、特別損益合計で10億円損失計上、その結果、親会社株主に帰属する当期純利益は2億円となり前期比9.5億円の減少。特別損益△10億の内、約9億円がJNLギスボン工場の合板ライン停止に伴う、減損損失と人員削減による再編費用

(単位:百万円)

	平成29年3月期	平成30年3月期	前期比増減	
売上高	66,394	64,959	△1,434	
売上総利益	20,580	19,500	△1,080	
売上総利益率(%)	31.0%	30.0%	△1.0%	
販売管理費	17,717	17,666	△51	
営業利益	2,863	1,833	△1,029	
経常利益	2,002	1,517	△485	
特別損益	△309	△1,081	△772	
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,161	208	△952	
有形設備投資	1,985	2,009	24	
減価償却費	2,664	2,641	△23	
(参考) 期末為替 レート	対 USD	112.19	106.24	△5.95
	対 NZD	78.43	76.81	△1.62





連結 要約貸借対照表



総資産は海外子会社による為替換算の影響がある中で約30億円の減少、有利子負債は約10億円の減少

(単位:百万円)

	平成29年 3月期	平成30年 3月期	増 減	主な増減要因
流動資産	29,813	27,102	△2,710	
・現預金	7,632	5,537	△2,095	為替影響△55 実質△2,040
・たな卸資産	12,321	12,433	111	為替影響△31 実質+142
・受取勘定他	9,858	9,132	△726	為替影響△61 実質△665
固定資産	59,715	59,473	△242	
・有形固定資産(立木除く)	29,599	29,475	△124	為替影響△184 実質+60
・立木	16,693	16,398	△294	為替影響△345 実質+51
・無形固定資産	459	893	433	
・投資その他の資産	12,963	12,706	△257	為替影響+20 実質△277
資 産 合 計	89,528	86,575	△2,952	為替影響△658 実質△2,294
流動負債	22,350	15,901	△6,448	
・有利子負債	11,974	7,118	△4,856	為替影響△56 実質△4,800
・支払勘定他	10,375	8,783	△1,591	為替影響△29 実質△1,562
固定負債	26,187	29,823	3,636	
・有利子負債	22,440	26,280	3,840	為替影響△119 実質+3,959
・その他	3,747	3,542	△204	※有利子負債合計△1,016 (為替影響△171 実質△845)
負 債 合 計	48,537	45,725	△2,812	為替影響△233 実質△2,579
・株主資本合計	34,567	34,431	△135	当期純利益+208 株式配当△349
・その他包括利益累計額合計	5,466	5,268	△198	その他有価証券評価差額金+231 為替調整勘定△413
・その他	957	1,150	192	
純 資 産 合 計	40,991	40,850	△140	自己資本比率 幺29.3期 44.7%→幺30.3期 45.9%
負 債 純 資 産 合 計	89,528	86,575	△2,952	為替影響△658 実質△2,294



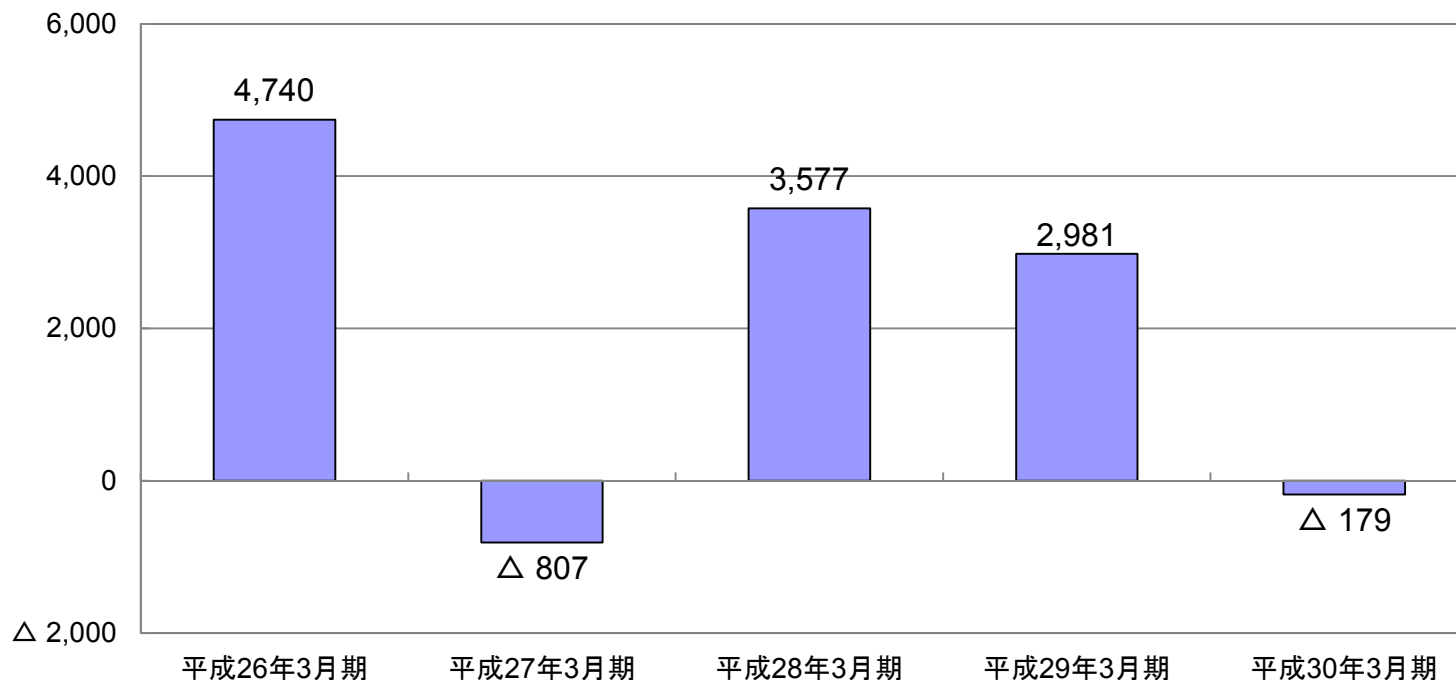
フリー・キャッシュフローの推移



営業活動によるキャッシュ・フローは2,866百万円

投資活動によるキャッシュ・フローは△3,045百万円となり、フリーキャッシュ・フローの合計では△179百万円

(単位:百万円)



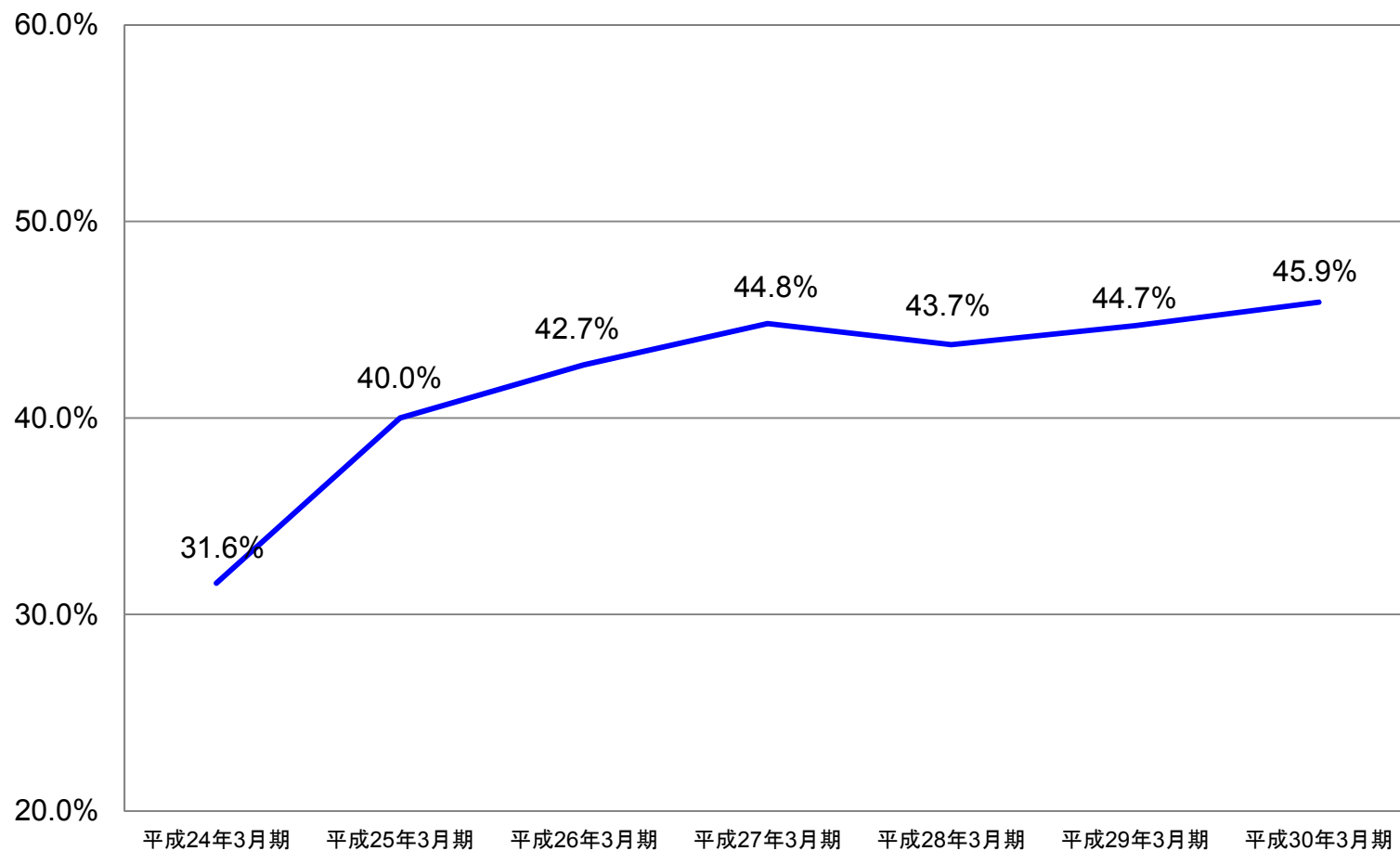
	平成26年3月期	平成27年3月期	平成28年3月期	平成29年3月期	平成30年3月期
フリー・キャッシュフロー	4,740	△807	3,577	2,981	△179
営業キャッシュフロー	6,007	1,961	5,118	4,776	2,866
投資キャッシュフロー	△1,267	△2,768	△1,541	△1,795	△3,045

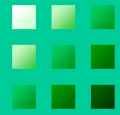
トピックス 平成30年3月期 : JNLギスボン工場板ライン停止に伴う事業再編

平成30年3月期 : インドネシアの持分法適用会社を連結子会社化(増資)



連結自己資本比率の推移





平成31年3月期の業績予想



インドネシア持分法適用会社を連結子会社化した事等により、売上高は前期比+1,341百万円を見込む。

親会社株主に帰属する当期純利益は引き続き「働き方改革」等に積極的に取り組む事で前期比+392百万円を見込む。

(単位:百万円)

[連結]	平成30年3月期 実績	平成31年3月期 予想	前期比
売上高	64,959	66,300	1,341
営業利益	1,833	1,900	67
経常利益	1,517	1,200	△317
親会社株主に帰属する 当期純利益	208	600	392

設備投資	2,009	2,400	391
減価償却費	2,641	2,800	159